

平成21年度（社）鳥取県観光連盟事業計画案

コンセプト「鳥取県への多様な誘客活動の強化」

平成21年度の事業については、引き続き、観光ポータル活動を中心に旅行会社との連携を図り、旅行商品造成を推進する。

個人客誘致の推進を図るため、新たな観光連盟ホームページの活用による観光情報、会員情報のPRを積極的に行うとともに、県外大型誘客施設等でのキャンペーン実施等により幅広い旅行客の誘客を図る。

会員の皆様との連携をさらに強化し、情報の共有を図るとともに観光従事者のスキルアップ等受地対策の充実を図る。

事業計画

1 観光客誘致対策事業 39,100千円

(1) AGT招致事業（県外旅行会社等対策事業） 8,500千円

首都圏、中京圏、関西圏、中四国・九州圏の各圏域を対象に観光素材説明会のフォローアップとして実施する。

各圏域30名程度を2泊3日で招致

(2) 観光素材説明会等開催事業 9,000千円

各圏域を対象に引き続ききめ細かな説明会、商談会（相談会）を実施する。

観光素材説明会に合わせ鳥取県の食材を中心とした観光PRを行うため、「鳥取県食の夕べ」を中京地区で開催。（各圏域隔年で実施）

新(3) 個人客誘客促進事業 3,000千円

各圏域の大型集客施設（ショッピングセンター等）でキャンペーンを実施し、会員と連携して郷土芸能やゆるキャラ派遣、ゲーム等を行うとともに、ノベルティ提供等により鳥取県観光をPRする。

(4) 県外AGT店頭キャンペーン協賛事業 2,500千円

各圏域の旅行会社店頭で、鳥取県観光の店頭キャンペーンを実施し、旅行会社来店者に鳥取県観光をPRするための活動を行う。

(5) 他団体との協同・連携事業 5,500千円

県旅館ホテル生活衛生同業組合、県観光施設連絡協議会等との連携強化

- (6) JRとの観光キャンペーン事業 2,000千円
JR・鳥根県と連携して実施(鳥根県の提案により平成21年から3,000千円減額)
総事業費:6,000千円
(鳥根県観光連盟、鳥根県、JR西日本米子支社 各2,000千円)

- (7) 地域別創意工夫事業 6,600千円
各地域で創意工夫して取り組む事業に対し支援する。
東部地区 3年間WGで実施し新たな鳥取砂丘の魅力に発展した「ゆるキャラカップ in鳥取砂丘」を、鳥取砂丘新発見伝事業として砂丘をより活用した形での拡充実施を申請し実施予定。
中部地区 3年間WGで地域の認知度調査やPRを行ってきたが、来年度は新たな中部地域の食の魅力としてご当地メニュー(牛骨ラーメン)による観光振興に取り組む予定。(山陰文化観光圏補助金を活用)
西部地区 3年間WGで実施した大山再生神話による旅行商品化の事業をさらに発展させ、水と神話を切り口に西部地域の食や観光資源を結ぶ広域観光と旅行商品化に取り組む予定。(山陰文化観光圏補助金を活用)

- (8) 県内滞在促進事業 2,000千円
県内各温泉地との連携強化による滞在化の促進
観光プロモーターを中心とし、各温泉地等と連携したAGT対策を行う。

2 情報発信・宣伝事業 6,000千円

- (1) 最新観光素材集作成事業 2,000千円
平成20年度構築の素材集への魅力的な写真等の素材収集拡充を図る。
(2) イベント参加型観光PR事業 1,000千円
観光プロモーターを中心に効果的な県外イベントへの参加によるPRを図る。
(3) インターネット対策事業 300千円
(4) 観光連盟推薦みやげ品PR事業 200千円
推薦みやげ品点数の増に努めるとともに、推薦品のPR活動を強化する。
(5) 観光PRノベルティ作成事業(観光名刺等作成) 1,500千円
(6) 鳥取観光親善大使活動事業 1,000千円

3 観光従事者スキルアップ対策事業 1,800千円

- (1) 観光従事者等育成事業(もてなし講座) 1,500千円
受地人材のスキルアップについて、観光プロモーターを中心に鳥取コンベンションビューローとも連携しながら実施。(東部・中部・西部各地域及び県全体で実施)
(2) 観光事業優良従業員表彰 300千円